

平成27年度 学校関係者評価まとめ

実施日 平成27年12月2日(水)

学校関係者評価委員8名 渡辺勝美 大塚栄一 金子幸子
金子洋子 中山孝男 木村 浩
渡邊勝之 酒井貴美子

4 : 達成度が高い 3 : おおむね達成されている 2 : あまり達成されていない 1 : ほとんど達成されていない

評価項目	No.	質問項目	平均	自己評価についての説明と学校の考え	評価	理由・意見
学校組織運営 昨年度 3.42 今年度 3.54	1	学校は、学校教育目標(可能性に生きる)達成に向け、PDCAのもと組織的に取り組んでいる。	昨年度 3.34 今年度 3.50	◇教職員はそれぞれの立場で学校教育目標を念頭に置いて指導している。 ◆全職員の意識をさらに高めていきたい。	過年度 3.88 3.89 今年度 4.00	・非常に先生方が協力して向上させていこうという熱意が感じられる。 ・教職員数が54名という事でまとまらないこともあると思うが、先生方のお話を聞いていると、春中の為に生徒の為にという視点は同じで頑張っている様子がよくわかる。 ・先生方の努力により組織が円滑に運営されていると思う。 ・常に高い評価を得ているスポーツ・合唱祭・マーチングは維持するのは大変難しいと思う。生徒の協調性を学校全体でまとめている事・指導の素晴らしさを感じた。
	2	教職員は、協働して学年・学級経営を進め、生徒の望ましい集団づくりに努めている。	昨年度 3.64 今年度 3.78	◇時間や労力を惜しまず、学年学級経営・行事・部活動に取り組んでいる。 ◆教職員の入れ替わりに応じた連携や共通理解が求められる。		
	3	学校は、個人情報の管理や事故発生時の対応など、危機管理体制を整えて取り組んでいる。	昨年度 3.51 今年度 3.65	◇危機管理の喚起がされ、意識が一層高まった。 ◆教員の意識に差があるように思われる。個人情報の管理にはより留意すべきである。		
	4	学校は、清掃や掲示活動などを中心に、組織的に環境美化に努めている。	昨年度 3.19 今年度 3.22	◇清掃、掲示、壁のペンキ塗りなど保護者、生徒の協力を得ながら努力している。 ◆学年・学校としての清掃活動に対する意識とその方法を改善し、共通認識が必要である。		
学習指導 昨年度 3.36 今年度 3.44	5	学校は、授業秩序を整え、望ましい学習態度の確立に努めている。	昨年度 3.51 今年度 3.56	◇各学年、一定期間の授業規律を再確認、タイム席・授業評価・挙手回数等への意識が高く、学習態度で成果が見られる。 ◆授業規律にバラツキがある。	過年度 3.66 3.62 今年度 3.89	・生徒個人にバラツキがあり、指導方法にはかなりの工夫が必要と思うが、前向きに進めている。 ・質問に対して多くの生徒が手を挙げてる事から内容の理解度を感じた。 ・合唱祭での事や生徒が見せる礼儀正しさを通して、よく学習指導がなされている。 ・一人一人の個性を大切に、その能力を最大限に引き上げようとしていると、特に合唱祭の生徒の完成度の高さに見ることができた。 ・教員と生徒との認識に若干のズレがあるように思える。
	6	教員は、生徒の実態に基づき、わかる授業の改善に努めている。	昨年度 3.35 今年度 3.37	◇全教科が授業研究を実施、指導力の改善に努めている。 ◆学校研修課題「学力向上」に向け、さらなる研修を充実していく。		
	7	学校は、少人数指導や学習相談などをおして基礎基本の習得を図り、確かな学力の定着に努めている。	昨年度 3.21 今年度 3.39	◇基礎基本の習得を図り、確かな学力の定着に努めている。 ◆学力格差の改善のための研修を工夫し、個々の指導をさらに充実していく。		
	8	学校は、家庭学習の充実のために取り組んでいる。	昨年度 3.40 今年度 3.44	◇家庭学習推進のための手立てが工夫されている。さらに、取組の差を無くしていく。 ◆学校・家庭の連携強化、家庭訪問や学年保護者会等を活用し、協力体制の充実を図る。		

豊かな心と態度の育成 昨年度 3.20 今年度 3.29	9	学校は、人権教育や道徳教育などとおして豊かな心を育てよう努めている。	昨年度 3.06 今年度 3.17	◇道徳授業、ふれあい講演会、人権作文、ボランティア活動等とおして、実践している。 ◆道徳の授業が豊かな心を育む要の時間となるよう、さらなる研修の改善が必要である。	過年度 3.63 3.68 今年度 3.89	・思春期の生徒を預かる先生には生徒に対する接し方が難しいと思うが、先生型の意欲と情熱が生徒に反映する事を願う。 ・学校へ行った時や道端で出会った時の自然な笑顔やあいさつ等に無理してつくったものではない素直さに触れうれしく思うことがある。 ・生徒たちの楽しそうな顔を見ると、先生方の指導があるのではないかと思う。
	10	学校は、生徒の自主的な活動を積極的に取り入れた学校行事の充実に努めている。	昨年度 3.70 今年度 3.72	◇教員、生徒、保護者とも学校行事への評価は高く、生徒の達成感がよい伝統になってきている。また、生徒主体となるような取り組みを常に工夫されている。		
	11	生徒は、あいさつや時間を守ることができる。	昨年度 3.12 今年度 3.13	◇心のこもった挨拶など、日常生活に浸透している。 ◆下校時刻など生徒自身が時間を守ろうとする指導の工夫が必要である。挨拶への指導法の工夫。		
	12	生徒は、いじめや意地悪な行為をしないで、互いのよさを認め合って学校生活を送っている。	昨年度 2.94 今年度 3.15	◆SNS上の悪口やいじめのない、思いやり・互いに認めあえる教育をさらに推進していく必要がある。 ◆言語環境の整備、生徒たちの言葉遣いを指導強化していく。		
健康・安全・体力 昨年度 3.55 今年度 3.57	13	学校は、施設・設備等の安全管理や生徒へ安全教育を進め、安心・安全な学校づくりに努めている。	昨年度 3.38 今年度 3.46	◇安全教育部会中心に安心・安全な学校づくりに努めている。 ◆施設・設備の老朽化より一層、日常の安全点検を心がける。	過年度 3.81 3.80 今年度 4.00	・部活に対する学校側の理解があり、部活が活発に行われており、大会にその成果があらわれている。特に音楽に対する学校側の努力が感じられる。 ・学校近くに行くつか踏切があり、道路も狭く安全に対する学校の苦勞を感じる。 ・部活の多彩な活躍ぶりに脱帽である。春中生の無限の可能性を感じる。それは先生方の能力の高さによるものと思う。指導力と熱意は他校の先生も脱帽なのではないだろうか。
	14	学校は、部活動を奨励し、生徒の心身の向上に取り組んでいる。	昨年度 3.81 今年度 3.83	◇部活動に対する意識の高さが生徒への良い成長を促し、教職員・保護者・地域とも一体となり成果を上げ取り組んでいる。 ◆若い指導者の研修の場を設定		
	15	学校は、健康診断・薬物乱用防止等の健康教育を計画的に行い、生徒の健康管理と増進に努めている。	昨年度 3.79 今年度 3.76	◇薬物乱用防止講演会や学校保健委員会など、計画的に実践されている。特にスクールサポーターによる情報伝達や講話は、効果的である。		
	16	生徒は、登下校や校舎内外での安全を心がけ、事故やケガのないよう努めている。	昨年度 3.23 今年度 3.24	◇下校時、警備灯を持って職員が安全指導している ◆一部安全意識が低く、継続的な指導が必要である。自転車での交通事故防止の指導強化を図る。		
保護者・地域との連携 昨年度 3.68 今年度 3.73	17	学校は学校公開や保護者会などとおし、学校の教育活動に理解を深めてもらえるよう取り組んでいる。	昨年度 3.62 今年度 3.67	◇学校行事に対する呼びかけと参加率の高さ、土曜日参観の導入が理解の深まりとなっている。公開する全ての行事等で、保護者からの意見を頂いている。	過年度 3.88 3.96 今年度 4.00	・先生方が多忙の中で保護者、地域との連携に時間をさく事は大変なことである。その中で積極的な姿勢が生徒へもプラスに働いている。 ・学校はホームページ・学校だより等を通し開かれた学校づくりに努めている。 ・住民はほとんど春中卒で、伝統的に地域の中で春中の存在は格別です。いろいろな機会に春中生のことが地域でも話題になる。学校でも積極的に地域に情報を求めてくる。保護者にも増して近隣の人の方が熱心に春中生を見守っている。
	18	学校は、ホームページ、学校・学年だよりなどとおして積極的に情報を発信し、開かれた学校づくりに努めている。	昨年度 3.75 今年度 3.78	◇各行事や生徒の活動をリアルタイムで更新し(毎日)、積極的な情報発信に努めている。また、すべての旅行的行事でブログ配信し、評価を得ている。		
	19	学校は、PTAや各種団体の活動に積極的に協力している。	昨年度 3.68 今年度 3.72	◇地域の行事への参加やオーストラリア姉妹校交流会など積極的な参加・協力を努めている。藤まつり・小学校運動会・駅前募金活動等。		
	20	学校は、保護者や地域等からの各種の相談・問い合わせに親身に対応している。	昨年度 3.68 今年度 3.76	◇組織的な対応に心掛けている。 ◇地域からの指摘等も大切な情報として真摯に受け止めている。		

全項目平均 昨年度：3.45 今年度：3.51

